
2023 年度

「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」

報告書

2024 年 5 月

青森県医療ソーシャルワーカー協会

目次

はじめに	1
2023 年度「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」概要	2
調査項目 1：青森県内における MSW の配置状況	3
調査項目 2：青森県内における MSW の経験年数	5
調査項目 3：青森県内における MSW の勤務形態	7
調査項目 4：青森県内における MSW の所持資格	8
巻末資料	9

はじめに

青森県医療ソーシャルワーカー協会（以下、当協会）による 2023 年度「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

本協会は、2018 年の調査部会発足以来、不定期ではありますが、青森県内の医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）の実態調査を行っています。

前回は、2019 年 12 月 1 日時点における各病院に配属されている MSW の人数・所持資格等を調査させていただき、今回は 2023 年 4 月 1 日時点の状況についてご回答いただきましたので、その結果をご報告いたします。

なお、いずれの調査も各病院における MSW の人数・所持資格等に関する項目だけではありましたが、今後は青森県内の MSW の研修に対するニーズ把握や、職能団体としての機能の充実を計るための基礎資料の収集等も実施していきたいと考えております。

業務ご多忙の中、調査にご協力くださいましたこと、そして日頃より当協会の活動にご理解・ご協力を賜りまして、あらためて深く御礼申し上げますとともに、今後とも当協会の活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

2024 年 5 月 18 日

青森県医療ソーシャルワーカー協会

会長 褐田 光樹

2023 年度「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」概要

1. 調査目的

ソーシャルワーカーの配置人数、経験年数、勤務形態、所持資格等を調査することにより、青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーの全数及び勤務状況が明らかとなり、圏域ごとの分析や今後の研修機会確保等を行う。

2. 調査対象

青森県内の全 89 病院（精神科 17 病院含む）

3. 調査方法

Web アンケート調査（巻末資料参照）

- ・各医療機関の病院長宛てに調査協力依頼文書を送付し、封筒にソーシャルワーカー宛て調査協力依頼文書および回答票（QR コードおよび URL 付き）を同封した。
- ・回答票は FAX 送信も可能とした。

4. 調査期間

2023（令和 5）年 4 月 1 日～4 月 28 日

- ・一定期間回答を待ち、未回答病院に対して、一度だけ電話連絡における回答依頼を実施した。

調査項目 1：青森県内における MSW の配置状況

- MSW 総数については、対象の 89 病院のうち 88 病院から回答を得ることができ、2019 年 12 月 1 日 調査時点と比較する（精神科 92 人を除く）と、42 人増加していた（表 1）。
- 病院毎の MSW 配置人数については、一般科において最大 10 人最小 0 人、精神科において最大 15 人最小 1 人であった（本項目については、病院が特定されるため病院毎の公表は行わない）。
- 回答のあった 88 病院中、MSW の配置がなかった病院は、11 病院（12.50%）であった。この 11 病院には精神科病院は含まれていない。

表 1. MSW 総数（人）

調査日	病院数	MSW 総数	増減
2019 年 12 月 1 日時点 ^{※1}	71	168	—
2023 年 4 月 1 日時点 ^{※2}	88 71 (精神科 17 病院除く)	302 210 (精神科 92 人除く)	134 42 (精神科 92 人除く)

※1 精神科病院を除く 74 病院に調査を実施し、未回答 3 病院を除く 71 病院のデータ

※2 精神科病院を含む 89 病院に調査を実施し、未回答 1 病院を除く 88 病院のデータ

- 二次保健医療圏別の MSW の配置状況の比較では、2019 年 12 月 1 日調査時点と、2023 年 4 月 1 日調査時点を比較すると、全ての二次保健医療圏において増加していた（表 2）。

表 2. 二次保健医療圏別の MSW の配置状況

調査日および比較項目	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北	計	
MSW 数 (人)	45	30	56	15	15	7	168	
病院数	17	21	15	7	8	3	71	
2019年 12月1日 時点 ^{※1}	1 病院当たり MSW 配置人数 (人)	2.65	1.43	3.73	2.14	1.88	2.33	2.36
	病床数 (床)	3,379	3,183	3,112	1,238	1,174	602	12,688
	1MSW 当り担当 病床数 (床)	75.09	106.10	55.57	82.53	78.27	86.00	75.52
	MSW 数 (人)	80	65	97		31		302
	(精神除く)	51	43	67	18	20	11	210
	病院数	20	27	20		11		88
	(精神除く)	16	22	15	7	8	3	71
2023年 4月1日 時点 ^{※2}	1 病院当たり MSW 配置人数 (人)	4.00	2.41	4.85		2.82		3.43
	(精神除く)	3.19	1.95	4.47	2.57	2.50	3.67	2.96
	病床数 (床) ^{※3}	4,057	4,520	4,158		1,803		16,378
	(精神除く)	3,229	3,617	3,076	1,238	1,174	602	12,936
	1MSW 当り担当 病床数 (床) ^{※3}	50.71	69.54	42.87		58.16		54.23
	(精神除く)	63.31	84.12	45.91	68.78	58.70	54.73	61.60

※1 精神科病院を除く 74 病院に調査を実施し、未回答 3 病院を除く 71 病院のデータ

※2 精神科病院を含む 89 病院に調査を実施し、未回答 1 病院を除く 88 病院のデータ

※3 2023年5月時点の病床数による算出

調査項目 2：青森県内における MSW の経験年数

- 集計できた MSW 総数 302 人のうち、219 人から回答を得ることができ、平均経験年数 9.73 ± 6.86 年目であった（表 3）。
- 経験年数については、最長 30 年目最短 1 年目であった（表 3）。
- 経験年数を 5 年毎に区切った場合、1～5 年目が 74 人（33.79%）、6～10 年目が 63 人（28.77%）、11～15 年目が 33 人（15.07%）、16～20 年目が 36 人（16.44%）、21～25 年目が 9 人（4.11%）、26～30 年目が 4 人（1.82%）であった（図 1）。

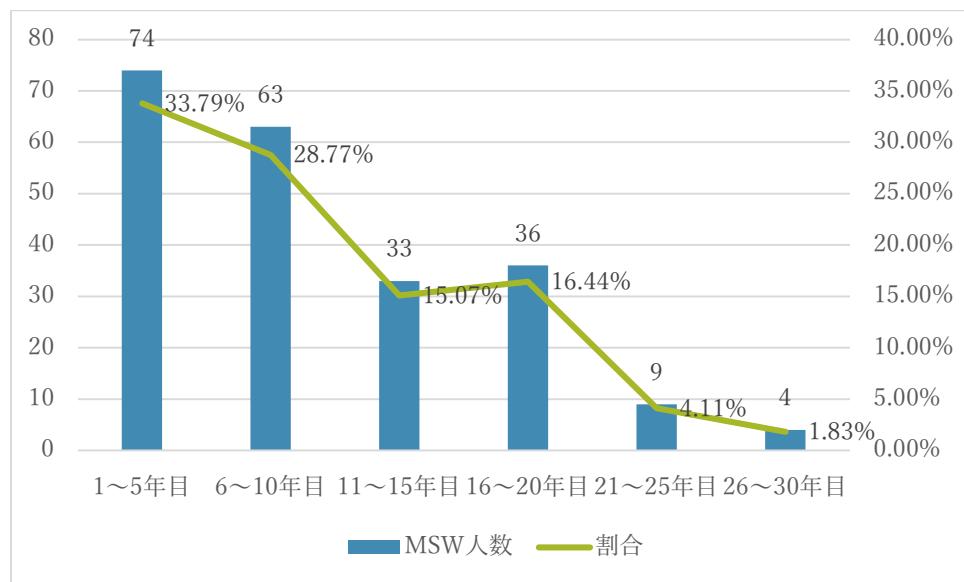


図 1. 経験年数別 MSW 人数および割合

表3. 二次保健医療県別の経験年数別MSW人数(人)

経験年数	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北	計
1年目	10	1	5	0	2	1	19
2年目	1	2	4	0	1	1	9
3年目	3	4	3	0	1	0	11
4年目	8	5	6	1	1	1	22
5年目	5	4	2	0	0	2	13
6年目	8	3	5	1	2	1	20
7年目	5	4	2	1	3	0	15
8年目	1	0	4	1	1	1	8
9年目	5	2	4	0	0	1	12
10年目	1	1	6	0	0	0	8
11年目	3	2	2	0	0	0	7
12年目	5	4	3	0	0	1	13
13年目	2	0	2	0	0	0	4
14年目	3	1	0	0	1	1	6
15年目	1	0	1	1	0	0	3
16年目	3	1	5	1	0	1	11
17年目	2	0	4	0	1	0	7
18年目	5	0	0	0	0	0	5
19年目	2	0	3	0	0	0	5
20年目	2	0	5	0	1	0	8
21年目	2	0	2	0	0	0	4
22年目	1	0	1	0	0	0	2
23年目	0	0	1	0	0	0	1
24年目	0	0	1	0	0	0	1
25年目	0	0	1	0	0	0	1
26年目	0	0	1	0	0	0	1
27年目	0	1	0	0	0	0	1
28年目	0	0	0	0	0	0	0
29年目	0	0	0	0	0	0	0
30年目	0	0	2	0	0	0	2
計	78	35	75	6	14	11	219

調査項目 3：青森県内における MSW の勤務形態

- 集計できた MSW 総数 302 人のうち、219 人から回答を得ることができ、95.43% (219 人中 209 人) が常勤であった（図 2）。
- 国公立系病院において、非常勤採用者が多い傾向にある（表 4）。

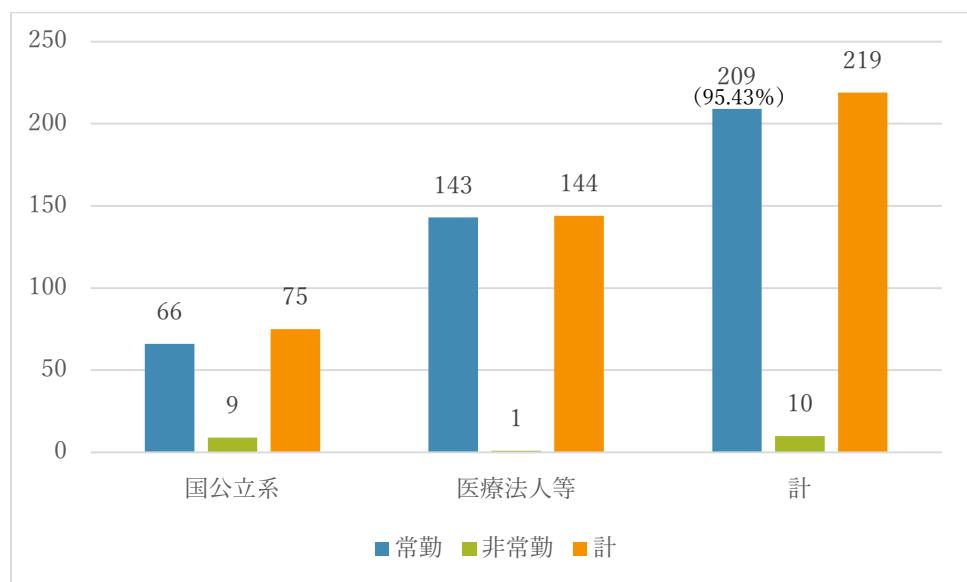


図 2. 常勤、非常勤別割合

表 4. 設置主体別勤務形態（人）

設置主体	常勤	非常勤	計
国公立系	66	9	75
医療法人等	143	1	144
計	209	10	219

参考資料) 二次保健医療圏における病院設置件数（2023 年 5 月時点設置主体別）

設置主体	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北	計
国公立系	5	8	8	3	4	3	31
医療法人等	15	19	12	4	7	0	57
計	20	27	20	7	11	3	88

調査項目 4：青森県内における MSW の所持資格

- 集計できた MSW 総数 302 人のうち、219 人から回答を得ることができ、95.89% (219 人中 210 人) が社会福祉士もしくは精神保健福祉士の国家資格所持者であった。
- 219 人の回答者の中で、社会福祉士と精神保健福祉士の両方の国家資格を所持している MSW が 106 人いた。
- 複数の資格を所持している MSW が多かった（図 3）。

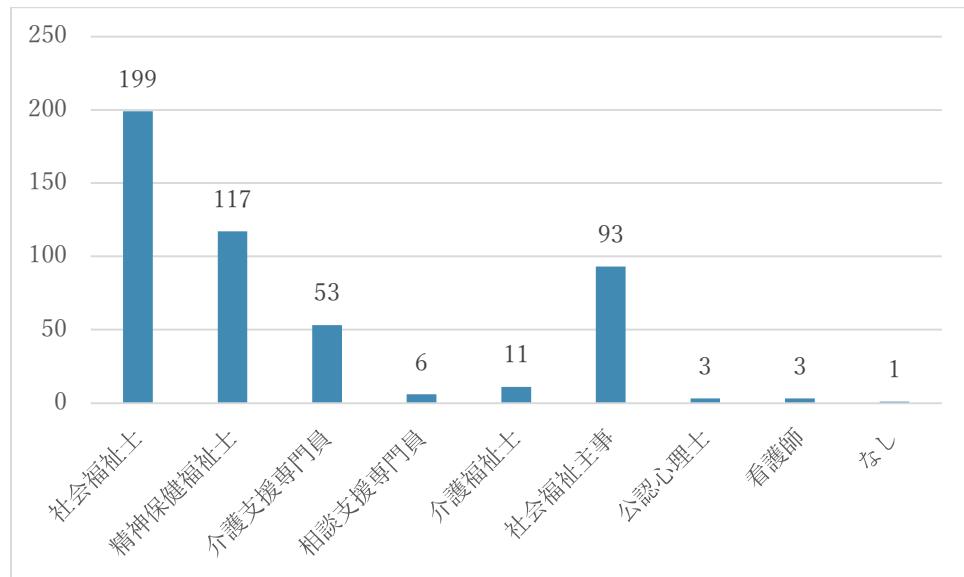


図 3. MSW の所持資格

巻末資料

資料 1. 病院長宛依頼文書

資料 2. ソーシャルワーカー宛依頼文書

資料 3. 「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」回答票

令和 5 年 3 月 吉 日

各医療機関 院長 殿

青森県医療ソーシャルワーカー協会
会長 褐田 光樹（公印略）

「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」への協力依頼（お願い）

拝啓

早春の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本会は医療ソーシャルワークの専門職としての資質と社会的地位の向上を目指すとともに、青森県の保健・医療及び社会福祉の発展に寄与することを目的に、前身である青森県医療社会事業協会の使命を受け継ぎ、平成 21 年度に設立した団体です。

この度、病院の中で社会福祉の実践を担うソーシャルワーカーの配置状況等について、青森県内の各医療機関を対象に実態調査を実施することにいたしました。本調査は令和元年に実施した調査と同様の内容となっております。本調査の成果としまして、病院に勤務するソーシャルワーカーの資質向上に関する研修の計画や専門性に関する研究の貴重な資料とするものであります。

さらに、調査結果につきましては、本会ホームページに掲載いたします。その際、各医療機関の実態を公表するものではなく、青森県の実態としてデータを掲載いたしますので、個人や各医療機関が特定されることはありません。また、本調査については、ご回答いただかなくても不利益を被ることはございませんが、医療福祉の向上に資するために調査の趣旨を御理解いただき、貴院担当者様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

調査内容

- ① 調査対象：青森県内の全病院（90 医療機関）
- ② 調査期間：令和 5 年 4 月 1 日～4 月 28 日
- ③ 調査目的：ソーシャルワーカーの配置人数、経験年数、勤務形態、所持資格等を調査することにより、青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーの全数及び勤務状況が明らかとなり、圏域ごとの分析や今後の研修機会確保等を行う。

依頼事項

大変恐縮ではございますが、別紙（調査票）の内容に関しまして、FAX またはグーグルフォームからご回答くださいますようお願い申し上げます。なお、貴院におかれましてソーシャルワーカーの配置がない場合であっても、「配置なし」としてご回答くださいますようお願い申し上げます。

調査実施者 青森県医療ソーシャルワーカー協会

調査担当者 青森県医療ソーシャルワーカー協会 理事 葛西孝幸、尾崎麻理

(青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科)

〒 030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

Tel : 017-765-2096

Fax : 017-765-2097

e-mail : t_kasai@auhw.ac.jp

令和 5 年 3 月吉日

ソーシャルワーカー 殿

青森県医療ソーシャルワーカー協会

会長 褒田 光樹（公印略）

「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」への協力依頼（お願い）

拝啓

早春の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本会は医療ソーシャルワークの専門職としての資質と社会的地位の向上を目指すとともに、青森県の保健・医療及び社会福祉の発展に寄与することを目的に、前身である青森県医療社会事業協会の使命を受け継ぎ、平成 21 年度に設立した団体です。

この度、病院の中で社会福祉の実践を担うソーシャルワーカーの配置状況等について、青森県内の各医療機関を対象に実態調査を実施することにいたしました。本調査は令和元年に実施した調査と同様の内容となっております。本調査の成果としまして、病院に勤務するソーシャルワーカーの資質向上に関する研修の計画や専門性に関する研究の貴重な資料とするものであります。

さらに、調査結果につきましては、本会ホームページに掲載いたします。その際、各医療機関の実態を公表するものではなく、青森県の実態としてデータを掲載いたしますので、個人や各医療機関が特定されることは一切ございません。また、本調査については、ご回答いただかなくても不利益を被ることはございませんが、医療福祉の向上に資するために調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

調査内容

- ④ 調査対象：青森県内の全病院（90 医療機関）
- ⑤ 調査期間：令和 5 年 4 月 1 日～4 月 28 日
- ⑥ 調査目的：ソーシャルワーカーの配置人数、経験年数、勤務形態、所持資格等を調査することにより、青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーの全数及び勤務状況が明らかとなり、圏域ごとの分析や今後の研修機会確保等を行う。

依頼事項

大変恐縮ではございますが、別紙（調査票）の内容に関しまして、FAX またはグーグルフォームからご回答くださいますようお願い申し上げます。なお、貴院におかれましてソーシャルワーカーの配置がない場合であっても、「配置なし」としてご回答くださいますようお願い申し上げます。

調査実施者 青森県医療ソーシャルワーカー協会

調査担当者 青森県医療ソーシャルワーカー協会 理事 葛西孝幸、尾崎麻理

（青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科）

〒 030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

Tel : 017-765-2096

Fax : 017-765-2097

e-mail : t_kasai@auhw.ac.jp

送信先

青森県立保健大学 健康科学部
社会福祉学科 葛西孝幸、尾崎麻理 宛
FAX : 017 - 765 - 2097

(送信票は不要です。

グーグルフォームからの回答の場合は、下記 QR コードもしくは URL から入力をお願いいたします。)

「青森県内の病院に勤務するソーシャルワーカーに関する実態調査」回答票

各医療機関においてお取りまとめのうえ、以下の項目へのご回答をよろしくお願ひ申し上げます。

【令和5年4月1日時点のもの】

1. 医療機関名 : _____
2. ソーシャルワーカー配置状況 : 配置なし (配置なしの場合は、回答は終了です。)
配置あり ⇌ 配置人数 : _____人
3. 令和4年4月からのソーシャルワーカー配置人数の増減 : なし _____人増えた _____人減った
4. 令和5年4月1日現在のソーシャルワーカーの現況をお知らせください。

なお、経験年数は、これまで病院勤務経験を合計した年数でご記入ください。

	経験年数	勤務形態	所持資格等 (該当するすべてに○印)
1	年目	常勤・非常勤	なし・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 社会福祉主事・その他 ()
2	年目	常勤・非常勤	なし・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 社会福祉主事・その他 ()
3	年目	常勤・非常勤	なし・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 社会福祉主事・その他 ()
4	年目	常勤・非常勤	なし・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 社会福祉主事・その他 ()
5	年目	常勤・非常勤	なし・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 社会福祉主事・その他 ()

(※6名以上の配置をしている場合は、お手数ですが本用紙をコピーしてご回答ください。)

調査担当者から確認がある場合がございますので、回答者様に関する以下の項目もご記入ください。

回答者部署名 : _____
ご氏名 : _____
連絡先 : TEL _____

回答用 QR コード



回答用 URL :
<https://forms.gle/GHYX5VrRaqSJjAmK6>

*令和5年4月28日(金)までにご回答くださいますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。